

日ごろの成果を見てください!

第31回あしたば白石まつり

11月19・20日の両日、あしたば白石(働く婦人の家)において、あしたば白石まつりが開催され、日ごろの成果を披露しました。

昭和50年に働く婦人の家が開館した年から開催されており、今年で31回目。あしたば白石で行われている講座やサークルなど26団体が参加して、舞台発表や約1,000点にも上る作品が所狭しと展示されました。

訪れた人たちは、その作品の素晴らしさに感心しながら、作り方などを熱心に質問していました。



リンゴの無料配布もありました

第3回秋の検断屋敷まつり

材木岩公園内の検断屋敷で11月13日、第3回秋の検断屋敷まつりが開催されました。

おなじみとなった南中ソーラン踊りや紙芝居「小原の伝説」、紅白もちまきが行われたほか、今回は七ヶ宿大正琴愛好会の皆さんによる大正琴演奏、小野歌謡会の皆さんによる華太鼓の演奏も行われました。



また、小原音頭の新作発表やリンゴの皮むき大会、先着500名へのリンゴのプレゼントなど、多彩な催しで訪れた人を楽しませました。

認め合い、励まし合い、支え合って

白石市青少年健全育成市民の集い

中央公民館で11月19日、次世代を担う青少年たちの健全な成長を願い、「青少年のための白石市民会議」が主催した市民の集いが開催され、大勢の市民が足を運びました。

集いでは、市内の中・高校生9名によるパネルディスカッションが行われ、成長期にある子供たちの悩みや苦しみ、大人社会の矛盾についての活発な議論が展開され、締めくくりに、家庭・学校・地域・行政それぞれが今できることを積極的に実践していく大会宣言を採択しました。



長期入院者の健康増進を願って

大泉記念病院東病棟文化祭

市内に移転した大泉記念病院で11月19日、長期入院患者の皆さんによる文化祭が開催されました。この催しは、病気治療のため同病院で長期入院・療養している東病棟約60名の皆さんの健康増進を図ることを目的に行われました。



文化祭では、地域のサークルの皆さんによるキーナ演奏や手品が披露されたほか、東病棟の患者さん自身による「もみじ」「旅愁」などの合唱も行われ、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

古くなったネクタイを活用して

いきいきプラザ短期リサイクル教室

いきいきプラザで9月14日～11月9日の期間中に計5回、短期リサイクル教室が開催されました。

この短期リサイクル教室は講師の渋谷京子先生による指導の下、実用的な裁縫リサイクルが気軽に体験できる教室として、主婦層に人気があります。今年のテーマは使わなくなったネクタイなどを利用して実用小物のれんやランチョンマットなどを作ろうというもので、参加者たちは思い思いの小物のれんなどを、楽しみながら作っていました。



楽しく大事に使ってね

リサイクル団体が保育園にお手玉を贈呈

11月30日、いきいきプラザを拠点にリサイクル活動を展開している「ボランティアまんさく」の皆さんが、小豆と古布でつくったお手玉を北保育園と深谷保育園に寄付しました。これは、子どもたちが昔の遊びを体験するとともに、物を大事にする心をはぐくんでもらおうと実施されたものです。



各保育園を訪れた3名の会員は園児と一緒にお手玉をするなど、子どもたちとふれあいがらリサイクルの大切さを伝えていました。

交通安全は茶の間から

白石市交通安全市民大会を開催

ホワイトキューブで11月25日、交通安全思想の普及徹底を目指して市民大会が開催されました。



大会には風間市長をはじめ多数の来賓が出席。出席者全員で交通事故死没者に対する黙とうをささげた後、風間市長から今年度の市内交通安全功労者8名への感謝状の贈呈が行われました。

大会の6日前に蔵王町で交通死亡事故が発生したこともあり、出席者は交通事故防止に向け、あらためて気を引き締めていました。

地元のそば粉で打ちました!

白川地区でそば打ち体験教室

11月20日、白川公民館において、「そば打ち体験教室」が開催されました。この日、そば打ちに挑戦したのは、6組のご夫婦を含む16名の皆さん。使用したそば粉は、米の生産調整のため、内親地区青年部の皆さんが今年の夏に栽培したそばの実を石うすで挽いたものです。

講習会では、白石興産(株)手打ち工房より2名の講師を招いて行われ、出来上がったそばは、各家庭に持ち帰り、家族みんなで「地産地消」のそばの味を楽しみました。



おいしいハラコ飯に舌鼓

白石調理師会の皆さんによる社会奉仕活動

11月17日、南町の福祉作業所やまぶき園で白石調理師会(会長:松野喜美男)の皆さんによるボランティア活動が行われました。



白石調理師会では、これまでに白石陽光園など、市内の福祉施設などで同様のボランティア活動を行っており、今回で9回目となります。

この日は、新鮮な食材を使ったハラコ飯が園の利用者や角田養護学校の生徒に振る舞われ、プロの作った季節の料理を、おいしそうに口いっぱいほお張っていました。

地域のふれあいを大切に!!

寿山自治会で「会館まつり」

11月12・13日の両日、寿山自治会館において、第2回目の「会館まつり」が開催されました。

このイベントは、地域における世代を超えた交流を図り住み良い地域を目指そうと、自治会館の新築をきっかけとして昨年から開催しているものです。会場には、絵画や手芸、書道など自治会の皆さんの作品が展示されたほか、地元の跡部清寿さんの指導で竹細工コーナーが設けられ、参加した小学生たちは杉鉄砲などに熱中していました。



親子で一緒に楽しく活動!

白石中学校1学年「親子ふれあい活動」

11月19日、白石中学校体育館において、1年生の生徒とその父母、各クラスの担任の先生たちも加わって、「親子ふれあい活動」を行いました。



この日は、生徒とその父母あわせて約230名が参加し、クラス対抗のスポーツ大会を開催。直径約120cmの大きなボールを使用する「キンボール」というニュースポーツなどを行った後、おかあさんたちの手作りの芋煮を食べ、親子での楽しい時間を過ごしました。

国内最高峰のプレーを展開

第12回Vリーグ女子バレーボール白石大会

ホワイトキューブで12月3日、女子バレーボールの国内最高峰リーグ・Vリーグの白石大会が開催され、武富士、日立佐和、デンソー、シーガルズの4チームが熱戦を展開しました。会場にはトップレベルのプレーとスター選手を一目見ようと大勢の人が足を運び、フルセットにもつれ込んだ試合などではかたずをのんで勝負の行方を見守っていました。

また、華やかな応援やファンサービスなど、見所満点で大会は大盛況のうちに閉幕しました。

